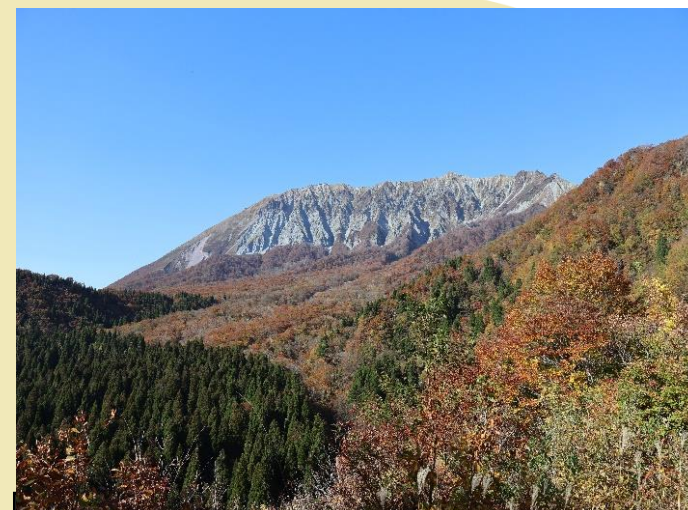




ひょうのせん
氷ノ山山頂（氷ノ山国有林：若桜町）



おきのやま
大桁の木（沖ノ山国有林：智頭町）



だいせん
大山南壁 鍵掛峠から（大山国有林：大山町）

令和8年度 鳥取森林管理署重点取組事項



ダイセンキャラボクと大山登山道
（大山国有林：大山町）



きゅうしょうざん
旧城山自然休養林（旧城山国有林：鳥取市）



おうぎのせん
レクリエーションの森「扇ノ山森林スポーツ林」
（扇ノ山国有林：八頭町）

林野庁



近畿中国森林管理局 鳥取森林管理署

令和8年度 鳥取森林管理署重点取組事項について

目次

- 1 森林・林業施策推進への貢献 P 2
- 2 公益重視の管理経営 P 6
- 3 民国連携及び民有林支援 P 9



- 「新しい林業」の実現に向けて「林業の低コスト化・省力化に向けた取組」、「伐採と造林の一貫作業システム」の取組を実施します。




下刈の省力・削減の取組

下刈は、コストと労働力が課題となっています。下刈回数を削減し、省略化、低コスト化に努めます。

下刈省略にあたっては、その要否を判断するため、下刈箇所の植生状況により、3タイプ※（C1、C2、C3）の区分判定を実施します。

また、下刈の実施においては、コスト削減の観点から、一律全刈としないで、可能な限り筋刈とします。



C1	C2	C3
		
樹冠の梢端が雑草木から露出 【下刈省略】	樹冠の梢端と雑草木の高さが同じ 【下刈省略を検討】	樹冠が雑草木に埋もれている 【下刈を実施】

※Cとは「competition」の頭文字。

苗木と雑草木の競合状態を1～3の区分分けにより、下刈の必要性を判定します。

伐採と造林の
一貫作業システムの推進

伐採から造林までを一括して発注し、地拵の省略やコンテナ苗使用による植付の省力化で低コスト化を図る一貫作業システムでの事業を実施します。令和7年度は、小舟山国有林、坪谷奥国有林及び沖ノ山国有林で取り組みました。引き続き、事業実施に取り組みます。



高性能林業機械による林内整理作業
(沖ノ山国有林：智頭町)

- 森林の鳥獣害対策として、地域連携により効率的な捕獲を進めます。
- 地方公共団体と協定を締結し、猟友会等が国有林内でシカ捕獲を行うための捕獲協力に引き続き取り組みます。

地域との連携によるシカ捕獲 (ついで見回り・通報の取組)

「ついで見回り・通報」は、狩猟者が設置したワナを事業の受注者が、朝・夕の通勤時に見回り、捕獲等が確認された際に狩猟者へ通報することで、効率的なシカ捕獲を行う取組です。このため、林道から見通せる箇所にワナを設置する必要があり、設置場所を選ばずエサで誘引する「小林式誘引捕獲」との組み合わせで効果が期待されるところです。

令和7年度は、小舟山国有林（若桜町）において、関係する5者で協定を締結のうえ実施しました。引き続き、地域と連携した捕獲を推進します。



罠を設置した場所のヘイキューブを食べているシカ
(小舟山国有林：若桜町)



小林式誘引捕獲による
ワナの設置
(小舟山国有林：若桜町)

ドローンを活用したシカ防護柵点検

シカ防護柵の点検業務の負担を軽減するためにドローンを活用しています。令和7年度は、真山国有林（三朝町）において、地域の林業関係者を対象に自動飛行による点検の実演と意見交換会を実施しました。森林の鳥獣害対策について、効率化・省力化の取組を推進します。



ドローンによるシカ柵点検の実演の様子
(真山国有林：三朝町)

ブナの結実豊凶調査結果の提供

ブナ林の結実調査は、平成元年度から開始され、毎年のブナ豊凶予測のためのデータ資料、ツキノワグマの出没予測など、ブナ林生態系管理の基礎情報として有効利用されています。

※シイナとは、発芽しない実らない種子。



ブナの種子の状況（※シイナ）
(沖ノ山国有林：智頭町)

- 「昭和100年」の機運を盛り上げるため、地域と国が協力して、多様な樹種を育て、次世代へ継承する森林を育てる象徴的な取組として「昭和100年記念分収造林」（グリーン・シェアリング）を進めます。

多様な主体と連携した森林の整備・保全の取組

令和8年度は「昭和100年記念分収造林」（グリーン・シェアリング）公募を行っています。
針葉樹に偏らず広葉樹を含む多様な樹種の植栽を推進し、生物多様性や景観、地域性を重視した森林づくりを目指します。

公募対象地

所在地 鳥取県日野郡日南町
土屋山国有林 706林班 ぬ2小班
公募面積 1.29HA
植栽予定樹種 スギ、ヒノキ、広葉樹等

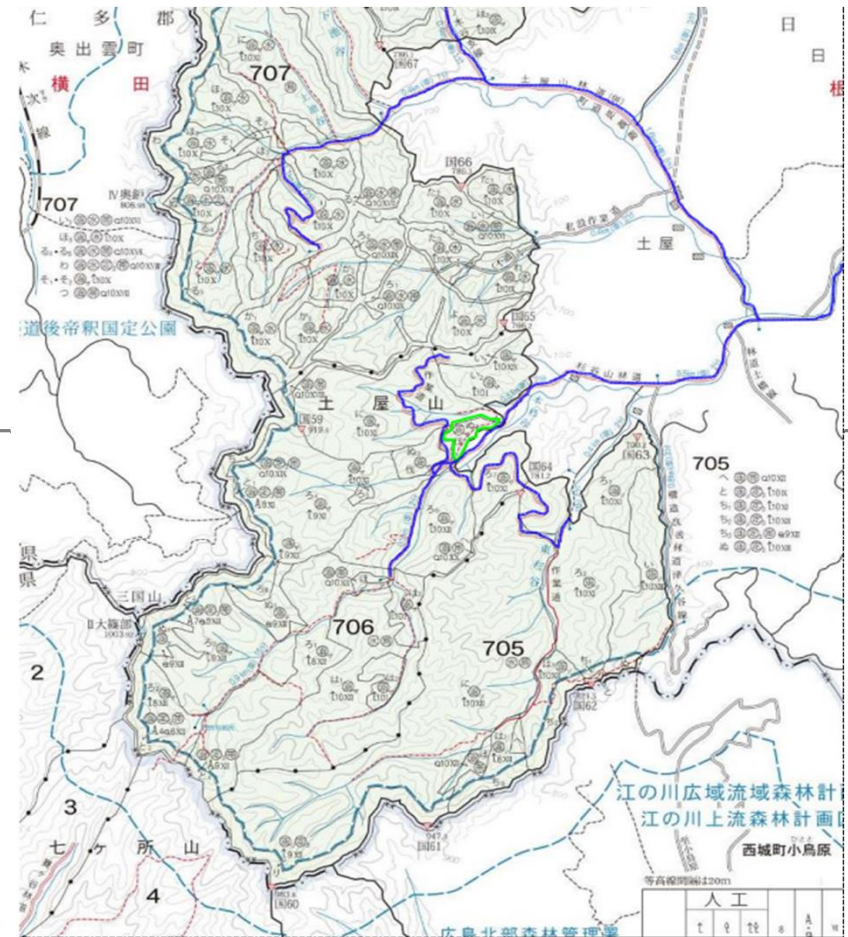
「法人の森林」における活動の推進

持続可能な社会を創るための森林・林業の役割や木材利用の意義について、理解と関心を高めてもらうため、体験林業等の活動に対し、フィールドの提供を行います。



ニッセイ緑の財団の植付・下刈体験の様子
(三徳谷国有林：三朝町)

公募対象地の位置図



凡例	
	公募区域
	主要道路

- 保全対象となる人家や公共施設等の被害を最小限に止められるよう、国土強靱化に向けた取組を着実に進めます。

流域治水と連携した国土強靱化の取組

山地災害危険地区や重要なインフラ周辺等のうち、特に緊要度の高いエリアや氾濫した河川上流域等において、流域治水に資するための森林の防災・保水機能を発揮させる治山施設を整備します。



大山三ノ沢溪間工施工地（大山国有林：大山町）

治山事業による『安全』『安心』の確保

市街地への落石を防止するため、防護ネットを設置する山腹工事を実施するなど、地域住民の安全・安心を確保します。



山腹工施工地 きゅうしょうざん（旧城山国有林：鳥取市）

大山の国有林治山事業の歩み

大山は火山活動によりできたトロイデ式火山であり、主に角閃安山岩からなっています。現在は解体期にあることから各所に大規模な崩壊地が見られ、出水期には多量の土砂礫が流れ出し、下流域に与える影響は計り知れないものがあります。このため、大正6年に大阪大林区署（現 近畿中国森林管理局）の直轄事業として事業に着手したことに始まり、昭和9年の室戸台風を契機として事業区域を拡大し昭和13年に大山治山事業所（大山町大山寺）を設置、令和8年で109年を迎え、大山国有林の治山事業を実施しています。



現在の大山治山事業所

多様化する災害に対応した治山対策

令和7年3月に大山（一ノ沢）において、大規模な雪崩が発生し大山環状道路（県道）の橋梁が被災しました。雪崩の発生源を含む上流部において、緊急に災害対策の治山工事を実施します。



河床整理の様子（大山国有林：大山町）

- 国土の保全、水源の涵養、生物多様性の保全等の森林の有する多面的機能の発揮に向けて、多様な森林づくりを推進します。
- 花粉発生源対策として、伐採と花粉の少ない苗木への植替えを計画的に進めます。

重視すべき機能に応じた管理経営

鏡ヶ成国有林において、針広混交林（針葉樹と広葉樹が混じり合った森林）へ誘導するため、森林の天然力を活かして、択伐後の地表処理及び照度管理などについて、専門家の意見を聞きつつ取り組みます。

- ① 区域面積 8.87 ha
- ② 樹種及び林齢 スギ人工林 71年生
- ③ 間伐率 35%
- ④ 間伐実施予定 令和8年度以降



かがみがなる
鏡ヶ成国有林の間伐実施前の林内の様子
(鏡ヶ成国有林：江府町)

花粉症対策に向けた取組

「スギ人工林伐採重点区域に準じた国有林」 を中心とした伐採・再造林

国有林におけるスギ花粉発生源対策を推進するため、スギ人工林の伐採を進めるとともに、再造林にあたっては花粉の少ないスギ苗木に植替えし、花粉の少ない森林への転換を促進します。



令和8年度伐採予定箇所
(小舟山国有林：若桜町)

※「スギ人工林伐採重点区域に準じた国有林」は、都道府県が設定する「重点区域」を含む市区町村内の国有林としています。



花粉の少ないスギ植栽
(小舟山国有林：若桜町)

- 木材の安定供給に向け、複数年契約の取組や委託販売、木材を安定供給する「安定供給システム販売」等に取り組みます。

複数年契約の取組

事業体の経営の安定化や労働条件の改善、雇用の安定に資するため、事業期間を複数年とする契約を導入しています。

- ・上萩山国有林
(令和7年度～8年度)



複数年契約箇所の搬出作業
(上萩山国有林：日南町)

木材販売価格の向上や有利販売に向けた取組

木材販売価格の向上や丸太の有利販売に向けて、地域の林業事業体を対象に採材に関する検討会を開催し、地域の木材需要を踏まえた、採材方法について意見交換を実施します。



令和7年度採材検討会
(沖ノ山国有林：智頭町)

木材の安定供給の推進 (立木販売、委託販売、システム販売)

【立木販売】国有林材を立木の状態で販売します
搬出期間は3年程度あります。(R8 予定 31,383m³)

【委託販売】あらかじめ契約を締結した原木市場を通じてセリ売りにより丸太を販売します。(R8 予定 660m³)

【システム販売】地域における木材の計画的・安定的な供給を図るため、あらかじめ協定を締結した工場等へ丸太を直接販売します。(R8 予定 10,090m³)

森林土木工事における木材利用の推進

コンクリート構造物の施工にあたっては、上流側に木製丸太の存置型枠を採用するなど、積極的に木材を利用します。



令和7年度溪間工事における存置型枠の
木材利用の状況(大山国有林：大山町)

- 原始的な天然林や希少野生生物が生育・生息する森林等を「保護林」として設定し、適切な保護・管理を進めます。
- 多様な森林づくりによる生物多様性の保全の取組を進め、レクリエーションの森を活用した地域振興に寄与します。

自然環境部局等と連携した病虫害対策

大山周辺に所在する国有林の中で、この地域を代表する原始的な天然林を主体に約3,200ヘクタールを大山森林生態系保護地域として設定しています。

令和2年は、全国的にナラ枯れ被害が増大し、鳥取県でも被害が増大し、国立公園である大山一帯では夏にもかかわらず、あたかも紅葉しているかのようにコナラ、ミズナラが枯れてしまいました。

令和4年～令和7年の被害は減少しましたが、まだ終息していません。このため、大山地区の国有林において、被害を抑えるため、立木の幹をビニールで覆うなどの被害予防措置を実施しました。

令和8年度は、樹幹の蒸れ対策のため、ビニールに替えてポリエチレンネット被覆を施し、効果を検証します。



令和7年度ビニール被覆の様子



令和2年のナラ枯れ被害の状況
(大山国有林：大山町)

レクリエーションの森を活用した地域振興 (扇ノ仙国有林：八頭町)

林野庁では、「レクリエーションの森」563箇所のうち、特に美しい景観を有するなど、観光の場としての利用が期待される93箇所を「日本美しい森 お薦め国有林」として選定しており、「扇ノ仙森林スポーツ林」もそのひとつです。また、八頭町が当スポーツ林内に「八東ふる里の森」を整備しており、令和6年度には、環境省から「自然共生サイト」に認定されています。ふる里の森に飛来・営巣している鳥類をはじめとした生物の生息環境保全に取り組んでいる扇ノ仙森林スポーツ林は、四季折々の魅力にあふれていて、素晴らしい景観や動植物の観察、キャンプなど、様々な楽しみ方があります。



自然共生サイト認証式



①民有林との連携

- 国有林と民有林が連携し、民有林施策との一体的な推進を図るため、地域林政連絡会議や森林整備協定運営会議等を通じ、地域の林業及び木材産業の成長産業の支援に取り組めます。
- 「森林経営管理法の改正を踏まえて、市町村等からのニーズに応じた地域における集約化の取組への支援を行います。

地域林政連絡会議の開催

民有林施策との一体的な推進を図りつつ森林・林業再生への貢献に向け積極的に取り組めます。民有林との連携をより一層強化するため、鳥取県、森林整備センター鳥取水源林整備事務所、中国四国農政局鳥取県拠点と情報共有や意見交換の場として、鳥取県地域林政連絡会議を開催します。



令和7年度鳥取県地域林政連絡会議
(鳥取県中部総合事務所)

森林の集積・集約化の取組への支援

市町村の森林・林業行政に対する技術支援の一環として、国有林の組織・技術力・資源を活用して支援を実施します。事業実施主体である地域協議会（市町村及び林業経営体等により構成）にオブザーバーとして参画し、集約化に向けた取組・検討を支援します。

林業試験場と連携した少花粉スギ苗の実証試験

西鴨国有林の育成複層林施業地で、鳥取県林業試験場と連携して、生分解性コンテナで養生した少花粉スギ苗を植栽し、実証試験を行っています。苗木の成長過程における様々なデータを収集し、令和7年度は成果を取りまとめました。令和8年度以降も継続して試験を行います。



少花粉スギ苗の成長量調査
(西鴨国有林：倉吉市)

- 国有林のフィールド・技術・組織を活かし、現地検討会の開催や林業アカデミーへの活動支援を通じて、民有林関係者への技術的支援、人材育成への支援を行います。

現地検討会の開催

新しい林業技術等の普及を図るため、毎年テーマを決めて現地検討会を開催しています。令和7年度は、令和6年度に再造林した真山国有林において、積雪葡行による造林木やシカ柵等の倒伏被害の状況をもとに、参加された林業行政や民有林関係者と意見交換を実施しました。令和8年度も、林業行政や民有林関係者の参加を募って実施します。



令和7年度現地検討会
(真山国有林：三朝町)

林業大学校等への支援 (にちなん中国山地林業アカデミー)

我が国の林業を牽引し、地域から信頼される林業技術者の養成を目指す「にちなん中国山地林業アカデミー」の活動を支援します。令和7年度はアカデミー学生の技術向上のため、篠谷山国有林において、ヒノキコンテナ苗植栽の現地実習等を実施しました。



令和7年度アカデミー学生の現地実習
(篠谷山国有林：江府町)

主要事業量内訳

区分	項目	単位	令和8年度主要事業量 (年度当初予定)
収穫	主伐	千m ³	36.7
	間伐	千m ³	22.4
販売	立木販売	千m ³	31.4
	製品販売	千m ³	10.8
造林	地拵え	ha	4.1
	植付	ha	10.3
	下刈	ha	21.1
	つる切・除伐	ha	—
	保育間伐 (活用型・存置型)	ha	149.9
	保育間伐 (本数調整伐)	ha	—
林道	林道新設	m	—
	改良	m	230
治山事業	国有林直轄治山	百万円	374.4
	民有林直轄治山	百万円	—

①事業量（年度当初予定）には、前年度の繰越事業量を含みます。

②収穫量、立木販売量には、分収林の民収分の数量を含みます。

③林道には、林業専用道を含みます。

④治山事業費には、災害復旧事業費を含みます。

【問い合わせ先】

鳥取県鳥取市吉方109 鳥取第3地方合同庁舎2階

鳥取森林管理署

TEL：050-3160-6125

【鳥取森林管理署ホームページ】

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/tottori/index.html>

鳥取森林管理署 管内マップ

